

河畔

7

2023. JUL Vol. 22

まっかぜだより

河畔病院

医療法人 松籟会
河畔病院

〒847-0021 唐津市松南町2-55

TEL 0955-77-2611 FAX 0955-77-2722

URL <http://www.shouraikai.jp/>
E-mail kahan@shouraikai.jp

河畔病院理念

地域に根ざし、慈愛に満ちた
医療と福祉を目指す

◆基本方針◆

1. 地域に根ざした安全で質の高い医療と福祉
2. 誠実・慈愛・調和に満ちた医療と福祉
3. 説明と納得に基づく医療と福祉
4. 新しい医療と福祉への取り組み

◆河畔病院患者の権利宣言◆

- ・すべての人が、良質で安全な医療を公平に受けられます
- ・医療機関と医師を自由に選択し、変更することができます。
- ・病状について十分な説明を受け、治療方針を選択できます。
- ・病状についてすべての情報を知ることができ、診療記録の開示を求めることができます。
- ・すべての個人情報機密が保持されます。
- ・病状に関わらず、個人の尊厳が守られます。
- ・当院以外の医師の意見を求めることができます。



「ごあいさつ」

医療法人松籟会 河畔病院 院長 湯ノ谷 誠 二

今年度の「まつかぜだより」が発行される頃には、新型コロナの流行はどうなっているのでしょうか。幸いにも、現時点（4月13日）においては、この流行は下火になっては来ていますが、残念ながら当院においても、昨年の12月から今年の1月に欠けて、所謂クラスターを経験する状況となってしまいました。体力的に衰えた方が多い患者様は元より、日頃元気に働いている多くの職員も新型コロナ禍に巻き込まれてしまいました。

では、現時点において、どうして新型コロナの感染者が減少し、落ち着いて来ているのでしょうか。新型コロナの感染が世の中に広く広がったことと、ワクチン接種が広く浸透したことにより多くの人たちが新型コロナウイルスに対しての免疫を獲得したからでしょうか。新型コロナウイルス（特にオミクロン株）の感染力自体が何らかの原因で弱まってしまったからでしょうか。人々の生活や日頃の行動が流行以前に比べて抑制的になって来たからでしょうか。人々のマスク着用、手洗い消毒の励行、ソーシャルディスタンスの保持や換気の励行等々の感染予防が功を奏したのでしょうか。季節の移ろいが影響しているのでしょうか。おそらく、上に述べたような様々な多くの要因が複合合って、現時点での新型コロナ感染者数の減少傾向に繋がって来ているのではないかと推察されます。残念ながら、「これが新型コロナ感染者数減少の原因である」と、明確に1つの理由を示すことは出来ませんが、現実として新型コロナの感染者が減少していることは喜ばしいことだと思われます。

当院では入院中・通院中の患者様にご高齢の方が多く、免疫力や抵抗力が低下している方も多いと考えられます。新型コロナ感染症の感染症法上の位置づけが2類から5類に移行しても、病院としましては、当然のことながら、感染予防に対する意識を高く持って、日常の診療及び福祉に携わっていくことが必須であると考えております。また、時が移り、近いうちに新型コロナウイルスが感染力の強い株に変化していくことも十分に考えられるところです。医療や福祉の従事者として、常に感染状況の変化に対応して仕事に努めていかねばならないと考えております。新型コロナ感染症が早期に過去の話になることを心から願っております。



「着任のごあいさつ」

内科医長 桑 野 路 矢

はじめまして、こんにちは。桑野路矢と申します。

4月より河畔病院・内科へ着任いたしました。そこで、今回は自己紹介を簡単にさせていただきますと思います。

私は今年、医師16年目になります。出身地は、愛知県小牧市、出身大学は山梨大学です。これまでは、長野県佐久総合病院・国立病院機構長崎医療センターで救急に専任し、その後は、長崎県対馬という離島で一般内科と消化器内視鏡を主に行っていました。前任地は、三重県亀山市で、総合診療科として働き、今回九州へ戻ってきたという経緯です。

私生活としては、妻と子供2人の4人家族で、毎日仕事が終わったら、家事に育児にと奮闘しております。趣味は、ここ数年は時間がある時にランニングをしており、ハーフマラソンやフルマラソンの大会に出場したこともあります。

自分が唐津という地域に貢献できることは何かと考えると、高度な先進医療、というよりは、幅広く患者様の健康問題と、そして個人それぞれの生活・社会背景をふまえて「人を診る」という事だと思っています。もちろん疾患を正しく評価し、高度な医療が必要な際は、速やかに高次機関へ連携することは行うにしても、地域で完結できることは可能な限り受け入れていく姿勢を忘れずにいたいと思います。献身的にこの地域の医療に関わっていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



トピックス



こんな症状で困っていませんか？ ～顔のピクピク、顔の痛み～

副院長 井 上 浩 平

脳神経外科にはどのような患者さんが受診されるかご存知でしょうか。皆さんが思い当たる病名としては、脳卒中（脳梗塞や脳出血、くも膜下出血）、脳腫瘍、頭部外傷などでしょう。確かにこのような患者さんも数多く受診されますが、あまり知られていない意外な症状・病気が実は脳神経外科の治療対象となることもあります。今回は、その一つである神経血管圧迫症候群についてご紹介いたします。

神経血管圧迫症候群は、血管が脳神経を圧迫することで症状が出る病気の集まりです。脳神経のうち、顔面神経（顔を動かす神経）を圧迫すると片側顔面痙攣、三叉神経（顔の感覚を司る）を圧迫すると三叉神経痛、舌咽神経（舌の奥・咽頭・中耳の感覚などを司る）を圧迫すると舌咽神経痛が起こります。

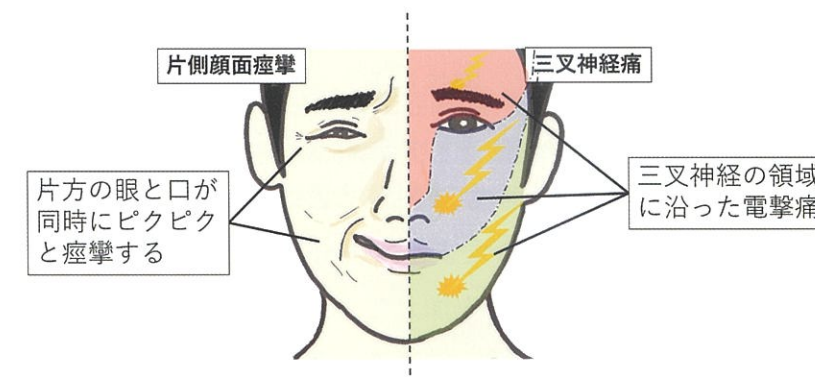
片側顔面痙攣

最初は片方の目の周囲（眼輪筋）がピクピクとけいれんを起こすことから始まります。そのうち同側の口元（口輪筋）も同時にピクピクとけいれんが起き始めます。そのため最初は眼科を受診される方が多いので

すが、実は頭の中で顔面神経に血管が当たって起こっている病気なのです。最初のうちは時々しか起こらないのですが、数か月～数年かけてけいれんがひどくなっていきます。ひどくなると、けいれんで片目がギュッと閉じてしまって運転に支障がでることがあります。精神的な緊張でけいれんがひどくなることも多く、発表会など肝心な場面で困ったり、接客業などで人前にでることが難しくなることもあります。

症状の特徴ですが、基本的には片側にだけけいれんが出ます。昨日は右側、今日は左側ということはありません。目と口のけいれんが同期します。けいれんと一緒に同側の耳の中でゴソゴソ、ガサガサと音がすることがあります。決して精神的なものではなく、年齢とともに血管が蛇行して顔面神経に接触するようになるのが原因です。

特効薬と言える内服薬は残念ながらありません。降圧剤などがわずかに症状を和らげることがある程度です。治療方法は大きく二つになります。一つ目は、ボトックスという注射です。筋肉を麻痺させることでけいれんを止めます。効果は約3か月しか持続しませんので、繰り返し注射を打つ必要が



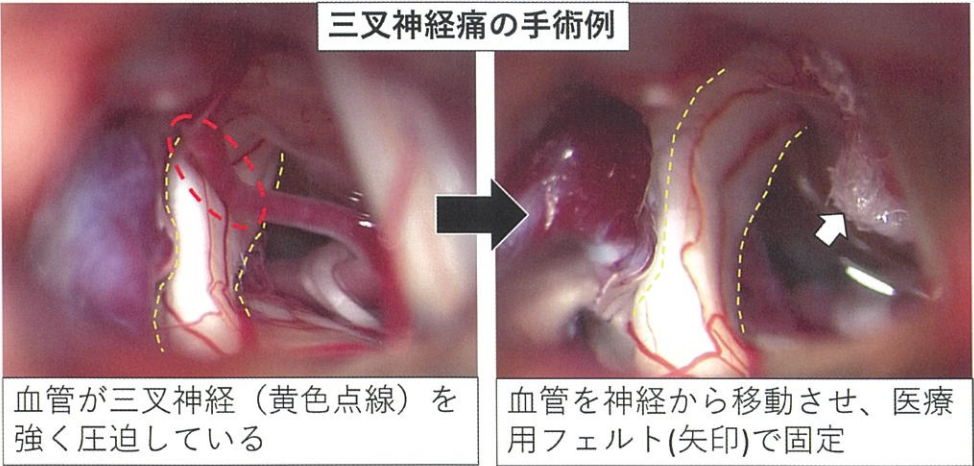


あります。繰り返しの注射が苦にならない方、症状が軽くて肝心な時だけ症状を止めたい場合や、高齢の患者さんなどに特にお勧めできる治療です。二つ目は、手術です。顔面神経を圧迫している血管を移動させます。根本的な原因を取り除く治療法であり、最終的には90%以上の患者さんが手術後に顔面のピクつきから解放されます。効果の高い治療ですが、全身状態の悪い方など手術そのものの危険が高いと予想される場合にはお勧めできません。

三叉神経痛、舌咽神経痛

三叉神経は顔の感覚を司る神経です。三叉神経痛では、会話、食事、歯磨き、洗顔などでピリッと発作性に激痛が走ります。数秒～数十秒、長くて数分程度と短い痛みが反復します。痛みは必ず片側で、痛みが左右交互に出ることはありません。患者さんから、「虫歯と思って歯医者に行ったけど、虫歯はなかった。何科を受診したらいいか分からなくて困った」という話をよく伺います。舌咽神経痛は三叉神経痛に似ていますが、舌やのどの奥、耳など、痛みの部位が若干異なります。三叉神経・舌咽神経痛には、脳腫瘍などが原因の場合と、脳血管の神経への圧迫が原因の場合があります。まずMRI検査で原因が何であるかを調べます。脳腫瘍などが無ければ、多くの場合原因となる血管を推定することが可能です。

治療方法として、第一に薬物療法を行います。カルバマゼピンという薬剤は三叉神経・舌咽神経痛に対して非常に有効です。副作用として、ふらつきや眠気などが出ることがあるため、少量から開始します。痛みの状態に応じて、少しずつ増量していきます。十分な効果が得られなくなると増量しますが、副作用も出やすくなります。カルバマゼピンが増量できず、痛みがコントロールできなくなると、他の3通りの治療を考えます。神経ブロック、ガンマナイフ、手術です。神経ブロックは三叉神経に麻酔薬を注射したり熱を加えて、ガンマナイフは放射線を当てて、神経を麻痺させる治療です。手術は顔面痙攣同様、当たっている血管を移動させる根本的な治療になり、高い治療効果が得られます。神経ブロック、ガンマナイフは体の負担が小さくすむ治療ですが、しびれが残りやすく、手術リスクの高い高齢の患者さんなどに勧められます。



お困りの症状があれば、お気軽にご相談ください。

病棟案内

1病棟 急性期病棟

急性期病棟は、内科・外科・脳神経外科・整形外科の混合病棟で急性期の患者様の個別の症状に合わせた治療を行っています。早期より専門スタッフが関わりチーム医療を充実させています。入院される場合、患者様はもちろんのこと、家族様を含めた周囲の方々の精神面に心を配り、看護・ケアにあたっています。また、人間ドック・糖尿病教育入院を担当し、疾病予防・健康増進の役割も担っています。

2病棟 回復期リハビリテーション病棟

回復期リハビリテーション病棟の目的は日常生活動作能力の向上による「寝たきり防止」「在宅復帰」です。適応疾患である脳梗塞・脳出血・脊髄損傷・大腿骨頸部骨折など発症2ヶ月以内の「回復期」のステージにある患者様に対し、医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・医療ソーシャルワーカーの専門職チームが集中的に関わり、リハビリテーションを日々実践していく病棟です。

3病棟 特殊疾患病棟

パーキンソン病・脊髄小脳変性症・筋萎縮性側索硬化症等の神経難病や筋ジストロフィー・重度の意識障害・脳血管障害・脊髄損傷の患者様を対象とした病棟です。薬物療法（薬のコントロール）、リハビリテーション等を行い、また人工呼吸器装着や障害によりベッド上での療法を行っている患者様にも、より良い療養環境を提供できるようケアを行っています。

5病棟 療養病棟

療養病棟は、主として重度の肢体不自由者（日常生活に密度の高い援助が必要な方）を対象とした、医療保険対応の慢性疾患療養病棟です。医療、療養上の看護・介護等が受けられます。また、日常生活に多くの援助が必要な方に対して、機能訓練・嚥下訓練を含めた援助も行います。自宅での療養を希望される方に対しては、介護保険の申請から、受けられるサービスの紹介、ケアマネージャーとの調整等も行っています。

花音 緩和ケア病棟

緩和ケア病棟は、一般病棟や在宅ケアでは対応困難な心身の苦痛がある患者様への治療やケアを専門的に行っています。緩和ケア病棟入院の条件としては、悪性腫瘍またはエイズの患者様を対象とします。各部屋は個室になっており、ご家族の付き添いも可能です。病棟ではご家庭の延長のような雰囲気心を心がけ、季節感を味わっていただけるような行事なども催しています。





受付前に、マイナ受付を設置しました。

くらしを便利に! マイナンバーカード!



身分証明書 になる!

ライブ会場の入場、
携帯の契約、会員登録
などに使える!



各種証明書をコンビニ で取得できる!

全国のコンビニで、住民票の
写しや課税証明書などが取得
できる!
※市区町村によってサービス内容が異なります。
※毎日 6:30 ~ 23:00 までとなります。



健康保険証 として使える!

2021年3月(予定)からスタート!
ピツとかざすだけでOK!
とっても便利に!

スマホ・パソコンでラクラク!

- ・オンラインで確定申告ができる。
- ・子育てをはじめとする行政手続ができる。
- ・健診結果や医療費が確認できる(予定)。



マイナンバーPRキャラクター
マイナちゃん



松籟会理事長 内科

井上 洋一郎

- ・医学博士
- ・日本内科学会
- ・日本臨床内科学会(認定医)
- ・日本糖尿病学会
- ・日本神経学会
- ・日本てんかん学会
- ・日本リハビリテーション医学会
- ・日本医師会認定産業医
- ・協力難病指定医



河畔病院副院長 脳神経外科

井上 浩平

- ・医学博士
- ・日本脳神経外科学会(専門医)
- ・日本脳卒中学会
(認定脳卒中専門医)
- ・日本神経内視鏡学会(認定医)
- ・日本脳卒中の外科学会
(技術認定医)



脳神経外科 部長

香畑 智彦

- ・医学博士
- ・日本脳神経外科学会(専門医)
- ・日本神経内視鏡学会
(神経内視鏡技術認定医)
- ・日本脳ドック学会
- ・難病指定医



整形外科 部長

達城 大

- ・日本整形外科学会(専門医)
- ・難病指定医



内科 医長

三島 泰彦

- ・日本外科学会(専門医)
- ・日本旅行医学会



河畔病院院長 外科

湯ノ谷 誠二

- ・医学博士
- ・日本外科学会
(指導医・専門医・認定医)
- ・日本消化器外科学会
(指導医・専門医・認定医)
- ・日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
- ・日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- ・日本臨床外科学会(評議員)
- ・日本緩和医療学会



脳神経内科 部長

岸川 秀明

- ・日本内科学会(総合内科専門医)
- ・日本神経学会(神経内科専門医)
- ・日本高次脳機能障害学会
- ・日本神経心理学学会
- ・日本神経治療学会
- ・日本認知症学会
- ・日本脳卒中学会
- ・難病指定医



緩和ケア 部長

前里 喜一

- ・日本緩和医療学会
- ・日本ホスピス緩和ケア研究会
- ・日本ペインクリニック学会



消化器内科 部長

田中 幸一

- ・医学博士
- ・日本消化器内視鏡学会(専門医)
- ・日本外科学会(認定登録医)
- ・日本消化器外科学会(認定医)
- ・麻酔標榜医



内科 医長

桑野 路矢

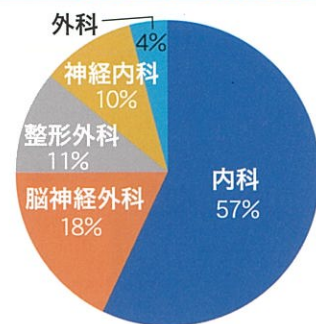
- ・日本救急医学会(専門医)
- ・日本プライマリ・ケア連合学会
(認定医)
- ・日本内科学会



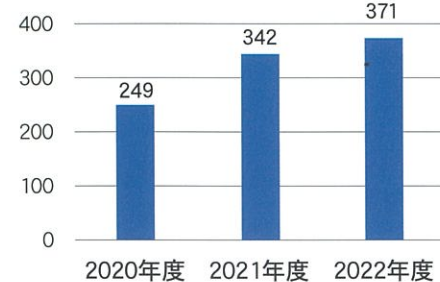
2022年度 河畔病院統計報告

2022年度に来院された患者さんの統計報告を掲載いたします。

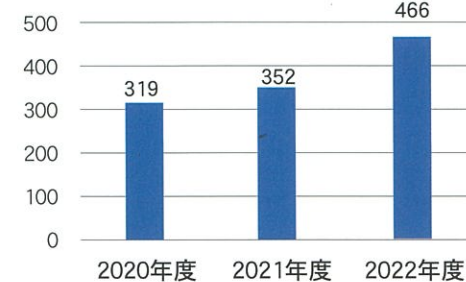
2022年度診療科別受診状況



緩和ケア科



救急車受入件数



外来状況

単位：人

	2020年	2021年	2022年
初診数	1,835	2,097	2,715
総数	25,094	24,767	24,955

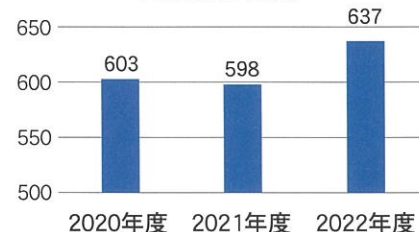
入院状況

単位：人

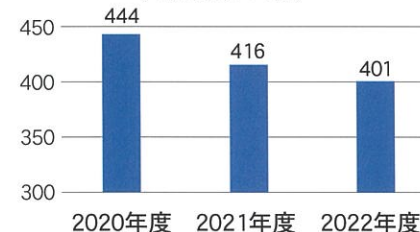
	2020年	2021年	2022年
新入院患者数	902	855	888

紹介件数(地域連携室取扱分)

外来紹介件数



入院紹介件数

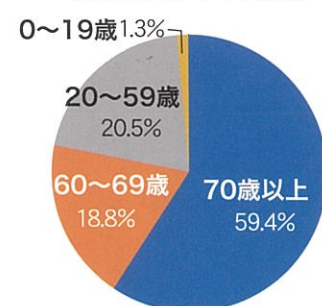


他院への紹介件数

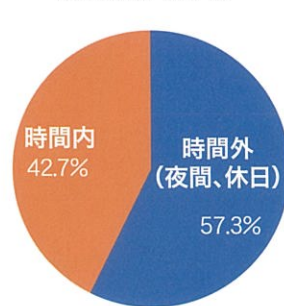


2022年度内訳

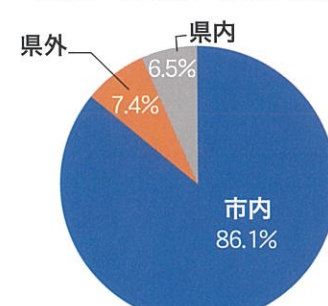
外来患者(年齢別)



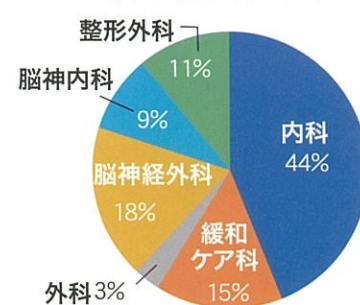
救急搬入患者



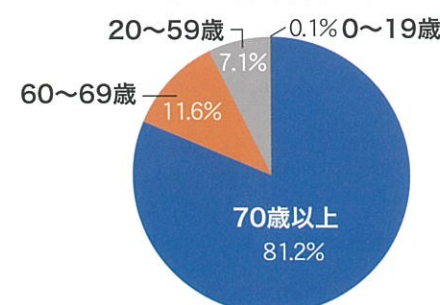
他院への紹介(紹介先別)



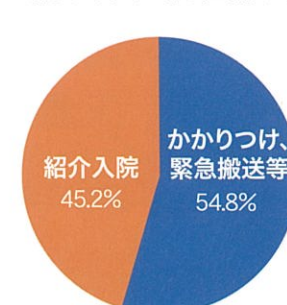
入院患者(科目別)



入院患者(年齢別)

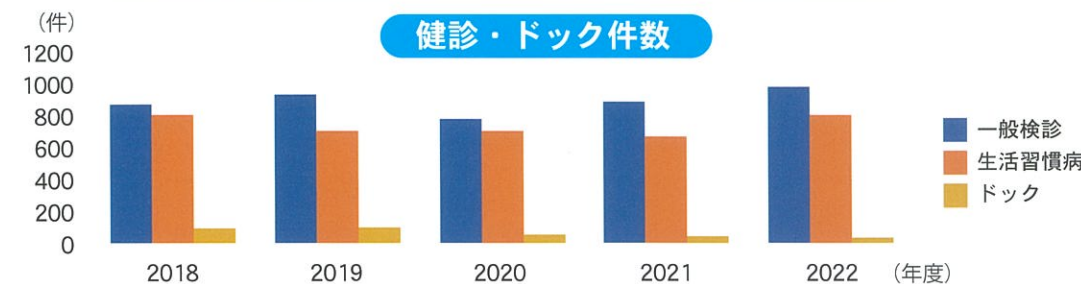


入院患者(入院経緯別)

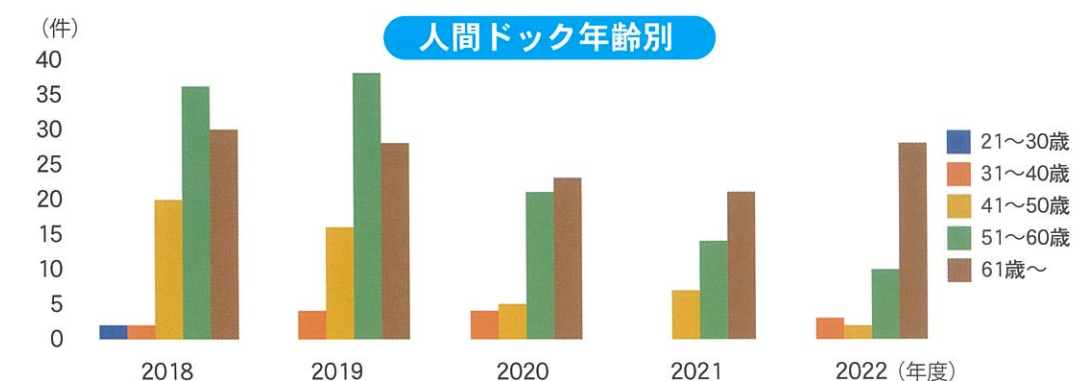


健診・ドック年間統計

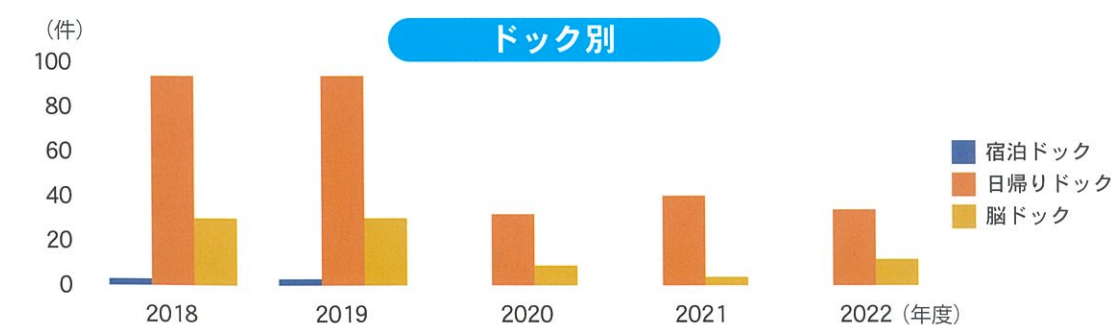
年別	種別	一般検診	生活習慣病	ドック	合計
2018年		895	825	127	1,847件
2019年		954	722	102	1,774件
2020年		793	721	50	1,564件
2021年		907	684	40	1,631件
2022年		1,004	823	38	1,865件



年別	年齢	21～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61歳～
2018年		2	2	20	36	30
2019年		0	4	17	38	28
2020年		0	4	5	21	23
2021年		0	0	7	14	21
2022年		0	3	2	10	28



年別	ドック別	宿泊ドック	日帰りドック	脳ドック
2018年		3	94	30
2019年		3	82	17
2020年		0	32	9
2021年		0	40	4
2022年		0	34	12



外来テーブル

2023年4月1日現在

曜 日		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
科 別	I 診	桑野	三島	田中 (消化器)	井上	三島	桑野
	II 診	井上	井上	久本	桑野	久本	井上
	III 診	岸川 (脳神経内科)	津村 (脳神経内科)	岸川 (脳神経内科)	藤瀬 (呼吸器)	岸川 (脳神経内科)	(第1) 枝吉 (第3) 山口 (循環器)
	IV 診	前里 (緩和ケア)	岸川 (脳神経内科)	高木 (循環器)	三島	高木 (循環器)	田中 (消化器)
外 科		湯ノ谷	湯ノ谷	古賀 (脳神経外科) (9:00~17:00)	沖野 (9:00~16:30)	湯ノ谷	
脳 外 科		井上浩	香畑	井上浩	香畑	香畑	井上浩
整形外科		達城	達城	達城	達城	達城	前里 (緩和ケア)
検 査		三島	西村	桑野 (エコー) 崎田	田中	島村	
ドック健診 (脳ドック)		多幾	多幾 (香畑)	多幾 (井上浩)	高木 (井上浩)	多幾	
専門外来		(午後) 久本 (糖尿病)		(午後) 久本 (糖尿病)		(午後) 久本 (糖尿病)	

※外科・整形外科診察室で他科の診察を行う場合があります。

〈 非 常 勤 〉

● 内 科 久 本 隆 生
多 幾 光 彦
● 脳神経内科 津 村 圭 亮
● 呼吸器内科 藤 瀬 茂

● 循環器内科 高 木 一 生
枝 吉 誠
山 口 美 佳
● 外 科 沖 野 秀 宣
● 脳神経外科 古 賀 壽 男